



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月25日

上場会社名 サイバートラスト株式会社 上場取引所 東
コード番号 4498 URL <https://www.cybertrust.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 眞柄 泰利
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO (氏名) 清水 哲也 TEL 03 (6234) 3800
四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,438	9.1	660	17.4	667	19.5	449	21.4
2022年3月期第3四半期	4,069	21.2	562	75.7	558	71.0	370	156.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 451百万円 (21.7%) 2022年3月期第3四半期 370百万円 (156.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	112.15	104.55
2022年3月期第3四半期	93.41	86.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,552	5,344	70.7
2022年3月期	7,222	4,874	67.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 5,343百万円 2022年3月期 4,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	15.2	1,050	20.9	1,050	20.3	704	32.8	175.63

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,015,700株	2022年3月期	3,993,100株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	154株	2022年3月期	41株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	4,008,502株	2022年3月期3Q	3,965,784株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益 (百万円)	1株当たり 四半期（当期） 純利益金額 (円)
2023年3月期第3四半期 連結累計期間	4,438	660	667	449	112.15
2022年3月期第3四半期 連結累計期間	4,069	562	558	370	93.41
増減率	9.1%	17.4%	19.5%	21.4%	20.1%
(参考) 2022年3月期	5,731	868	872	530	133.49

当社グループは、さまざまなモノがインターネットに繋がり、あらゆるプロセスがデジタル化される社会において「ヒト」「モノ」「コト」の正当性、完全性、真正性などを証明し、デジタル社会の信頼を支えるトラストサービス事業を推進しております。

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年12月31日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、世界的な金融引締めが続く中で、金融資本市場の変動や物価上昇等から先行きが不透明な状況が継続しております。

当社を取り巻く環境は、テレワークの普及、脱ハンコ、オンライン化、非対面化など新たな生活様式への対応に関する需要が拡大しております。

このような環境の下、認証・セキュリティサービスにおいては、デバイス証明書管理サービス「デバイスID」では企業向けのクラウド認証サービス、リモートアクセス等を展開する各パートナー、電子認証サービス「iTrust」では金融機関向けにeKYCサービスや電子契約サービスを展開する各パートナー、との取引増加により伸長しました。また、SSL/TLSサーバー証明書「SureServer」は既存顧客の買い増し、パートナーとの取引増加により伸長しました。これらの結果、売上高は2,568百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

Linux/OSSサービスにおいては、企業向けLinuxサポートは、Linux OS「MIRACLE LINUX」に大型の既存顧客の一部契約の見直し（縮小）があった一方で、CentOS延長サポートで大型案件を含む新規獲得が継続しました。これらの結果、売上高は1,057百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

IoTサービスにおいては、車載機器、産業機器、業務用プリンタなどの「EMLinux」ベースの製品実装に向けた受託開発案件、車載機器などのセキュリティコンサル案件並びに、組込み受託開発が中心的事業の子会社のリネオソリューションズ株式会社で受託開発が大きく伸長しました。長期利用可能なIoT・組込み用Linux OS「EMLinux」サポートの車載機器事業者の案件などが着実に積み上がりました。これらの結果、売上高は813百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

なお、当社グループはトラストサービス事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

以上の結果、売上高は4,438百万円（前年同期比9.1%増）、人員増加に伴う人件費の増加、無形・有形固定資産取得に伴う償却費の増加により費用全体は増加傾向にありますが、売上高が堅調に推移となったことによる結果、営業利益660百万円（同17.4%増）、持分法による投資利益等の営業外収益により経常利益667百万円（同19.5%増）、税効果会計の影響により親会社株主に帰属する四半期純利益449百万円（同21.4%増）となりました。

＜主なサービス内容＞

・認証・セキュリティサービス

SSL/TLSサーバー証明書「SureServer」、デバイス証明書管理サービス「デバイスID」等のクライアント証明書、電子的本人確認や電子署名などの電子認証サービス「iTrust」、ウェブセキュリティサービス、脆弱性診断サービス等を提供しています。

・Linux/OSSサービス

LinuxOS「MIRACLE LINUX」や統合システム監視ソリューション「MIRACLE ZBX」、バックアップソフトやカーネル技術を活かしたLinuxソリューションなど、オープンソースソフトウェアに関わるサービスを提供しています。

・IoTサービス

組込みLinuxと電子認証の技術を融合し、機器の開発、製造段階から脆弱性の低減や脅威への対策を考慮して長期の運用とセキュリティを実装する仕組みや、更新ソフトウェアが安全に配信される仕組みなど、IoTデバイスの安全・安心な利用を実現するための開発支援サービスとして、長期利用可能なIoT・組込み用Linux OS「EMLinux」、認証基盤「Secure IoT Platform」などを提供しています。連結子会社のリネオソリューションズ社はLinuxを中心とした組込み/IoT向け受託開発、及び高速起動製品「LINEOWarp!!」、開発環境サービスなどの販売を行っております。

＜取引形態＞

・ライセンス

主に自社の製品(Linux/OSS製品など)を提供

・プロフェッショナルサービス

製品のカスタマイズや導入支援、セキュリティコンサルティングなどを提供

・リカーリングサービス(契約が更新されることで継続した収益が見込まれるもの)

電子認証サービスや自社製品のサポートサービスなどを提供

なお、各サービスにおける取引形態別の売上高は下表のとおりです。

(単位：百万円)

サービス	取引形態	2022年3月期 第3四半期 連結累計期間	2023年3月期 第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
認証・セキュリティ サービス	ライセンス	104	125	21	20.6
	プロフェッショナルサービス	325	291	△34	△10.5
	リカーリングサービス	1,885	2,151	265	14.1
	小計	2,315	2,568	252	10.9
Linux/OSSサービス	ライセンス	265	219	△46	△17.5
	プロフェッショナルサービス	130	99	△31	△23.9
	リカーリングサービス	722	739	16	2.2
	小計	1,118	1,057	△61	△5.5
IoTサービス	ライセンス	75	88	12	16.7
	プロフェッショナルサービス	531	674	142	26.8
	リカーリングサービス	27	50	22	79.4
	小計	635	813	177	27.9
売上合計		4,069	4,438	368	9.1
全社	ライセンス	445	432	△12	△2.8
	プロフェッショナルサービス	987	1,065	77	7.8
	リカーリングサービス	2,636	2,940	303	11.5

(注) 2022年3月期第3四半期決算発表値においてはLinux/OSSサービス1,136百万円（プロフェッショナルサービス147百万円）、IoTサービス617百万円（プロフェッショナルサービス514百万円）でありました。2022年3月期の期中にサービス別売上高の内訳を変更したことによるものです。

（2）財政状態に関する説明

（単位：百万円）

	2022年3月期	2023年3月期第3四半期 連結会計期間	(参考) 2022年3月期第3四半期 連結会計期間
総資産	7,222	7,552	6,794
純資産	4,874	5,344	4,714
自己資本比率	67.5%	70.7%	69.4%

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より329百万円増加して7,552百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より508百万円増加して5,122百万円となりました。これは主として売上の入金などにより現金及び預金が608百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が61百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末より177百万円減少して2,428百万円となりました。これは主としてソフトウェアが33百万円、繰延税金資産が74百万円それぞれ減少したことによります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より140百万円減少して2,208百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より107百万円減少して1,678百万円となりました。これは主として未払法人税等が135百万円、賞与引当金が134百万円減少したことと、契約負債が200百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末より32百万円減少して529百万円となりました。これは主として契約負債が22百万円、リース債務が11百万円それぞれ減少したことによります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より470百万円増加して5,344百万円となりました。

これは主として前連結会計年度末より利益剰余金が449百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の67.5%から70.7%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月25日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,577,600	4,186,450
受取手形、売掛金及び契約資産	861,579	799,779
商品	1,084	1,081
仕掛品	907	259
原材料及び貯蔵品	555	525
前払費用	115,233	122,560
その他	56,674	11,574
流動資産合計	4,613,636	5,122,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	701,342	710,678
減価償却累計額	△453,845	△468,964
建物及び構築物（純額）	247,497	241,714
工具、器具及び備品	726,593	772,584
減価償却累計額	△444,301	△500,194
工具、器具及び備品（純額）	282,292	272,390
土地	1,270	1,270
その他	1,551	1,551
減価償却累計額	△1,145	△1,348
その他（純額）	406	203
有形固定資産合計	531,467	515,578
無形固定資産		
のれん	103,605	94,187
ソフトウェア	1,078,191	1,044,314
ソフトウェア仮勘定	334,933	316,605
その他	112,819	81,958
無形固定資産合計	1,629,550	1,537,064
投資その他の資産		
投資有価証券	34,302	42,073
長期前払費用	20,043	16,910
差入保証金	204,757	204,757
繰延税金資産	185,329	111,283
その他	1,200	1,200
投資その他の資産合計	445,632	376,224
固定資産合計	2,606,650	2,428,867
繰延資産		
株式交付費	2,540	1,592
繰延資産合計	2,540	1,592
資産合計	7,222,827	7,552,690

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	250,005	197,214
リース債務	17,730	15,483
未払金	137,504	194,738
未払法人税等	174,507	38,853
未払消費税等	131,516	78,191
契約負債	738,176	938,419
賞与引当金	238,323	104,090
役員賞与引当金	38,840	18,960
その他	59,833	92,766
流動負債合計	1,786,439	1,678,717
固定負債		
リース債務	86,457	75,440
契約負債	384,605	361,645
退職給付に係る負債	4,170	4,440
資産除去債務	86,976	87,878
固定負債合計	562,208	529,404
負債合計	2,348,648	2,208,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	794,057	804,001
資本剰余金	2,028,216	2,038,126
利益剰余金	2,048,121	2,497,692
自己株式	△314	△792
株主資本合計	4,870,080	5,339,027
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,402	4,039
その他の包括利益累計額合計	2,402	4,039
新株予約権	1,696	1,501
純資産合計	4,874,179	5,344,567
負債純資産合計	7,222,827	7,552,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,069,758	4,438,607
売上原価	2,264,108	2,428,563
売上総利益	1,805,649	2,010,044
販売費及び一般管理費	1,242,988	1,349,616
営業利益	562,661	660,427
営業外収益		
受取利息	97	44
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	4,626	7,771
その他	598	5,008
営業外収益合計	5,322	12,825
営業外費用		
支払利息	1,151	886
上場関連費用	4,777	—
為替差損	559	1,182
株式交付費償却	936	948
子会社清算損	—	2,520
その他	1,772	14
営業外費用合計	9,197	5,552
経常利益	558,786	667,701
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	558,786	667,701
法人税、住民税及び事業税	116,651	144,084
法人税等調整額	71,678	74,046
法人税等合計	188,330	218,130
四半期純利益	370,456	449,570
親会社株主に帰属する四半期純利益	370,456	449,570

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	370,456	449,570
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	419	1,637
その他の包括利益合計	419	1,637
四半期包括利益	370,876	451,208
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	370,876	451,208

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

当社グループは、トラストサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

当社グループは、トラストサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。